

# 成田市議会だより



成田市観光  
キャラクター うなりくん

## 平成22年12月定例会

### 主な内容

常任委員会	3
議案と審議結果一覧	5
特別委員会	6
決算特別委員会の審査内容	8
一般質問	9
コーヒータイム	14

参詣客でにぎわう参道から、少し入ったところで静かな休憩のひとつ。奥には小正月に商売繁盛を願う、紅白のナリキ餅が飾られています。(1月15日 仲町)

12月  
定例会の  
あらまし

# 27議案を可決・認定

## 急病診療所の設置及び管理に関する 条例の改正や一般会計補正予算など

平成22年12月定例会は、11月26日に招集され12月14日まで19日間の会期で開かれました。定例会の初日には、14議案が上程され、4議案を可決しました。

一般質問は、11月30日から12月2日まで16人の議員が登壇して行われ、12月2日には、発議案1件を可決しました。3日からは各常任委員会、特別委員会が開かれました。

最終日には、議案10件と追加議案2件を原案どおり可決し、請願2件を不採択、1件を継続審査としました。また、9月定例会から継続審査中の決算関係議案10件を認定し、閉会しました。

### 12月定例会の日程

月 日	内 容
11月26日(金)	本会議(開会、会期の決定、全議案一括上程、議案審議)
30日(火)	本会議(一般質問)
12月 1日(水)	本会議(一般質問)
2日(木)	本会議(一般質問、議案質疑、委員会付託)
3日(金)	空港対策特別委員会、教育民生常任委員会
6日(月)	医療問題特別委員会、建設水道常任委員会
7日(火)	経済環境常任委員会
8日(水)	新駅・基幹交通網整備促進特別委員会、新清掃工場整備特別委員会
9日(木)	総務常任委員会
14日(火)	本会議(会議録署名議員指名、議案審議、閉会)

# 常任委員会

本会議で委員会に付託された主な議案と審査内容の概要を紹介します。

※議案件名など一部省略しています。

## 総務常任委員会

付託された議案10件を審査し、可決しました。  
所管事務について2件の報告を受けました。

- ▼一般職職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定
- ▼議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- ▼特別職の職員の給与に関する条例の一部改正
- ▼教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正

[内 容] 主な改正点として、一般職職員の給料並びに期末手当及び勤労手当の支給率を、また議員、特別職及び教育長の期末手当の支給率を引き下げるため、所要の改正を行うもの。

[主な質疑] **問** この改正に伴う全体の影響額と一般職職員の給与の引き下げ額は。  
**答** 一般会計で約1億3千8百万円、一般職職員では年間で一人当たり約10万2千円の減額になると試算している。

## ▼平成22年度成田市一般会計補正予算（第3号）

[内 容] 人件費の減額や、乳幼児及び小学生の医療費助成事業、急病診療所管理運営事業等を実施するため、歳入歳出それぞれ2億2,052万円の増額補正を行うとともに、スポーツ広場等整備事業について繰越明許費<sup>注1</sup>の設定を行い、JR成田駅西口駐輪場ゲートシステム借上料等について債務負担行為<sup>注2</sup>の追加を行うもの。

[主な質疑] **問** 乳幼児医療費助成の方法は、平成22年12月より千葉県が事業に加わることにより変わるのか。  
**答** 小学校3年生までは、受給券により医療機関の窓口で対応するが、4年生からは従来と同様に市の窓口での清算払いとなる。

<sup>注1</sup> その年度内に事業が終了しない見込みとなった場合に、予算を翌年度に繰り越して執行することができるもの。  
<sup>注2</sup> 将来にわたる債務を負う契約を結ぶこと。

## ▼成田市急病診療所の設置及び管理に関する条例の一部改正

[内 容] 内科及び小児科について、国民の祝日に関する法律に規定する休日並びに1月2日、3日、8月13日から15日まで、及び12月29日から31日までの午前10時から午後5時までの時間について、新たに診療を実施することに伴い、所要の改正を行うもの。

[主な質疑] **問** 医師の確保については問題ないのか。  
**答** 年末年始や休日等については、新たに3病院の勤務医等の協力が得られることになった。

## 教育民生常任委員会

付託された議案6件を審査し、全会一致で可決しました。  
所管事務について4件の報告を受けました。

## ▼成田市予防接種健康被害調査委員会設置条例の一部改正

[内 容] 国より接種費用の助成が受けられることから、成田市における子宮頸がん<sup>けい</sup>予防ワクチン及びヒブワクチンの予防接種費用の助成制度の一部を見直すとともに、新たに小児用肺炎球菌ワクチン接種費用の助成を開始するに当たり、成田市予防接種健康被害調査委員会における所掌事務について、市が行う任意の予防接種を追加し、併せて条文の整理を行うもの。なお、この制度改正により、これらの予防接種については、個人負担無しで接種が受けられることとなる。

[主な質疑] **問** 自己負担額はどのように変わるのか。  
**答** 子宮頸がん予防ワクチンのこれまでの平均は1人1回当たり7,568円、ヒブワクチンは3,720円であったが、この自己負担額がなくなる。

## 経済環境 常任委員会

付託された請願2件を審査し、不採択並びに継続審査としました。  
所管事務について6件の報告を受けました。

### ▼米価暴落に歯止めをかけ、備蓄米40万トンの 買い入れなど緊急対策の即時実施について 意見書提出を求める請願

- [主な意見]
- 平成21年度産から米価の下落が続いており、農家は打撃を受け、このままでは生産意欲を失ってしまう。農家の損失を補填し、米価下落をくい止め、価格を下支えする対策として備蓄米40万トンを適正な価格で買い入れるべきとの意見書を政府に提出すべきである。
  - 稲作農家の大変さは理解するところである。だが、緊急の米価対策として備蓄米40万トンを買入れてほしいということだが、米価対策として妥当であるのか、40万トンという数字は根拠が曖昧である。

### ▼「JR成田駅東口再開発事業」の 見直しに関する請願書

- [主な意見]
- この再開発は、長い間、紆余曲折を経て地権者の了解をいただき、地元説明をして、最終的に事業認可を得て取りかかったものと認識している。今回の請願は7,251名から提出されたもので、重く受け止めるものだが、同じように、事業に同意をいただいた地権者の影響も考えなくてはいけない。
  - 再開発事業は、5年、10年では結果は分からない。いろいろな意見が出ると思うが、将来の成田市を考え事業を進めていただきたい。
  - 再開発事業を進めていく中で、成田市の顔として整備をしていくということはもちろんだが、伝統的な成田山新勝寺の表玄関としての顔を整えるという視点で駅前広場のあり方を考えていくことで、事業の理解も得られるのではないかと。

## 建設水道 常任委員会

付託された請願1件を審査し、不採択としました。



▲現在のJR成田駅東口の様子



## 国に決議を提出

12月定例会にて、議員から提出された議案（発議案）が可決され、国及び関係行政機関に下記のとおり決議<sup>注)3</sup>が提出されました。

- 北朝鮮の砲撃事件に抗議し、毅然とした対処を求める決議

注)3 議会が行う意思形成行為で、議会の意思を対外的に表明するために行われる議会の議決のこと。



# 議案と審議結果一覧

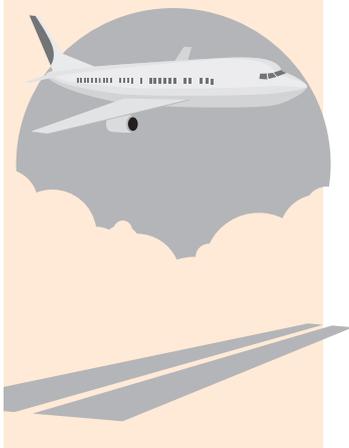
議案番号	件名 ※件名は一部省略しています	議決結果	政友クラブ										明成会			公明党		リベラル		周政会		共産党		市 蒼						
			佐久間一彦	湯浅雅明	小澤孝一	伊藤春樹	秋山忍	堀川弘一	加瀬間俊勝	村嶋照等	小池正昭	石渡孝春	岩澤衛	宇都宮高明	海保貞夫	上田信博	平良清忠	越川富治	水上幸彦	内山健	大倉富重雄	海保茂喜	伊藤竹夫	油田清博	荒木利一	神崎勝行	青野勝治	鶴澤治	馬込勝未	足立満智子
<b>◆ 議案</b>																														
1	一般職職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	成田市手数料条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	成田市児童ホームの設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	成田市急病診療所の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	成田市火災予防条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	市有財産の交換 (成田高速鉄道アクセス株式会社)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	市有財産の無償貸付(稲荷山区)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	印旛郡市広域市町村圏事務組合の経費の支弁方法の変更及び印旛郡市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	平成22年度成田市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	平成22年度成田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	平成22年度成田市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	成田市予防接種健康被害調査委員会設置条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	平成22年度成田市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>◆ 継続審査議案(平成22年9月)</b>																														
13	平成21年度成田市一般会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	平成21年度成田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	平成21年度成田市下水道事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	平成21年度成田市公設地方卸売市場特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	平成21年度成田市老人保健特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	平成21年度成田市介護保険特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	平成21年度成田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	平成21年度成田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	平成21年度成田市簡易水道事業特別会計決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	平成21年度成田市水道事業会計決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>◆ 発議案</b>																														
1	北朝鮮の砲撃事件に抗議し、毅然とした対処を求める決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>◆ 請願</b>																														
5	「JR成田駅東口再開発事業」の見直しに関する請願書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
6	米価暴落に歯止めをかけ、備蓄米40万トンの買い入れなど緊急対策の即時実施について意見書提出を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

※ 請願第7号「TPP、FTA、EPAなど、輸入自由化推進路線の見直しについて意見書提出を求める請願」は継続審査。  
 ※ ○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席 ※ 議長(小池正昭)は採決に加わりません。  
 ※ 会派名の略称は次のとおり リベラル=リベラル成田、共産党=日本共産党、市=無所属市民の会、蒼=蒼成会

# 特別委員会

委員会で報告された内容の一部を要約して紹介します。

## 空港対策 特別委員会



### ●容量拡大（30万回）に係る確認書

平成22年10月13日に、成田空港に関する四者協議会<sup>注4</sup>が開催され、「容量拡大30万回に係る確認書」について合意をしたとのことでした。空港の容量拡大については、平成21年12月に空港会社から示された30万回時における予測騒音コンターや環境対策・地域共生策の基本的な考え方、空港容量拡大に向けた施設整備についてなどが公表されて以降、成田市としては、40回を超える地域の皆様方への説明会や意見交換の実施、また国・千葉県及び空港会社など関係機関との協議を重ねてきた結果、騒防法、騒特法による区域指定の見直しなどについては、この四者協議会の確認書により一応の決着を見るに至ったと考えているとのことでした。しかしながら、これらの協議の中で、地域住民の方々からは様々な意見をいただいたので、市としては、これらの意見を踏まえ、今後の騒音対策、地域共生策などに取り組んでいきたいとのことでした。

<sup>注4</sup> 国、千葉県、空港周辺9市町及び成田国際空港株式会社で構成される。

### ●2010年冬ダイヤ

成田空港の2010年冬ダイヤにおける発着回数は、夏ダイヤに比べ、国際線では、主に日本航空の減便により、週229便減少しているが、国内線では、日本航空、全日空などの増便により、週70便増加しているとのことでした。

また、羽田空港の国際線は、冬ダイヤから定期便となり、発着回数は、約2倍に増加するとのことでした。

## 新駅・ 基幹交通網 整備促進 特別委員会



### ●成田湯川駅周辺整備

駅南側では、駐輪場整備工事が平成22年11月30日に完了し、12月中旬から全体の供用を開始する予定であり、公衆便所整備工事は10月8日に完了し10月20日から供用開始しているとのことでした。

駅北側では、市道松崎塙下湯川線の用地交渉を進め、11月末現在で地権者22名のうち9名の方と契約を締結し、また市道松崎塙下湯川線のJRトンネル詳細設計については、JRが平成23年3月31日完了を目指し実施しているとのことでした。

[主な質疑] **問** 屋根の付いた駐輪場設置の可能性は。

**答** 将来的には北千葉道路の高架下を借りることも検討している。

### ●首都圏中央連絡自動車道

平成22年に開通した区間は3カ所で、これまでの開通区間と合わせ約102キロメートルが開通し、供用率は約34%とのことでした。

千葉県内の進捗状況では、神崎・大栄間は用地取得率が平成22年10月末現在で約99%であり、工事については、利根川橋の上部工が23年2月から着手されるとのことであり、この区間の開通目標年度は24年度とのことでした。大栄・横芝間は、道路の設計作業が進められているが、圏央道全区間で唯一開通目標時期が示されていないため、国等に対し、早期着工・早期完成を強く要望しているとのことでした。



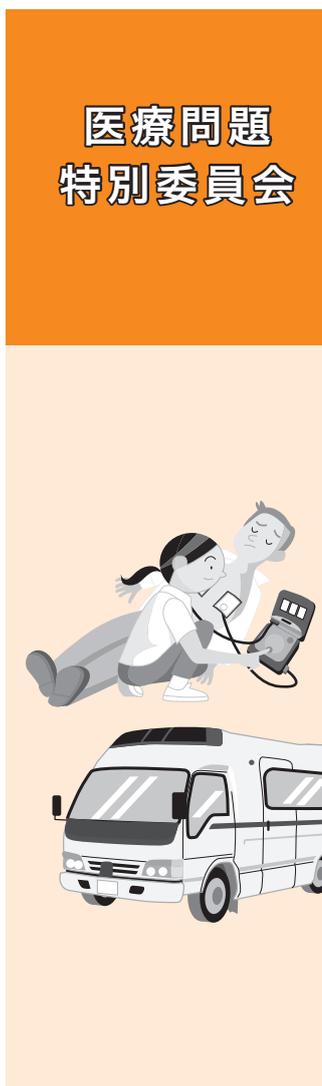
### ●新清掃工場建設工事の状況

平成22年9月以降は、工場棟および管理棟の基礎杭の打ち込みが終了し、ごみピット地下部分の掘削、市道野毛平小泉線の道路築造工事に伴う仮設道路の切りまわしに着手したとのことでした。

現在は、雨水調整池の築造、工場棟ごみピットの地下掘削・基礎工事、建築本体の基礎工事、また機械の工場製作として、ボイラー本体2基、非常用発電機1基の製作に取り掛かっており、今後着手する工種としては、工場棟地下の躯体工事、ガス化熔融炉2基、燃烧室2基、煙突の内筒2炉分の工場製作を予定しているとのことでした。

**【主な質疑】** 問 平成23年12月末に完成、24年4月から本格稼働ということでのよいのか。

答 順調ではあるが、長雨や猛暑など自然条件により工程に多少の影響が出ているため、工程の調整を慎重に検討し対応を図っていきたいと考えている。



### ●成田赤十字病院の現状（平成22年4月～9月分）

平成22年4月1日～9月30日の入院患者延数は、10万5,688人で21年より360人の増、外来患者延数は15万876人で21年より211人の増で、入院、外来どちらも内科の占める割合が高い。

また、22年4月1日～9月30日の診療科別の救急患者取扱状況は、延べ1万1,879人で、21年より37人の増で、内科・小児科の取り扱いが多く、市町村別の取扱状況は、成田市が4,729人で全体の39.8%、富里市が1,525人で全体の12.8%、印旛郡の合計では8,988人で全体の75.6%であるとのことでした。

**【主な質疑】** 問 派遣医師の人数と派遣元は。

答 千葉大医学部付属病院から毎月4人、日本医科大学北総病医院から毎月3～7人、亀田総合病院から8月と9月に1名派遣され、救急部と内科で診療を行っている。10月からは癌研有明病院から2名来てもらう予定。

問 公的病院の経営破たんが相次いでいるが、今後の成田赤十字病院の経営方針は。

答 医療費が削減され続け、最新の医療機器の導入や医師の確保も難しい状況であるが、10年ぶりの医療費改定があり、より高度な急性期病院ほど医療費のアップ率も高いことから、医療の充実と質の向上、より高度な医療を提供し収入増に繋がっていきたい。

### ●成田市24時間医療相談ほっとラインの利用状況（平成22年5月～9月分）

全体では2,222件、1カ月平均444.4件の相談が寄せられ、相談者は30歳代が最も多く、乳幼児を対象とする相談が多い。相談内容では、気になる身体の症状に関する相談、現在受けている治療に関する相談が多く見受けられたとのことでした。

# 決算特別委員会

## 平成21年度 決算関係10議案を認定

平成22年9月定例会において付託され、継続審査中の平成21年度決算関係議案10件について、閉会中の11月1日、2日の2日間にわたり審査を行い、下記に掲げる15項目の意見を付し、いずれも認定すべきものと決定しました。



- ① 市税、負担金、使用料、手数料等の徴収については、住民負担の公平性確保と受益者負担の観点から、収入未済額及び不納欠損額を最小限にするため、公金徴収の一元化について検討されたい。
- ② 空港容量30万回に向けての騒音直下対策にあたっては、空港周辺対策交付金の増額をもって財源とするべく関係機関に対し働きかけをされたい。
- ③ 成田空港の容量拡大にあたっては、関係機関と連携し、騒音下住民の生活環境の保全・向上、地域特性に応じた振興策の具体的な推進について、地域間のバランスを考慮し、より一層努力されたい。
- ④ コミュニティバスは、交通弱者・交通不便地域においては大切な移動手段である。コミュニティバス等連絡会議の充実と活用を図り、路線や運行時間の見直しなど、より効率的・効果的な運行を図られたい。
- ⑤ 事業の推進にあたっては、成果指標に基づいて改善の余地や市民要望などを総合的に考慮し、優先度を検討されたい。また、評価結果が予算に結びつく行政評価制度をさらに進められたい。
- ⑥ 障がい児等の自立支援については、就学前はこども発達支援センター、就学後は学校で対応しているが、情報交換等の連携を密にして、効果的な支援に努められたい。
- ⑦ 残土埋立て処分の特定期間許可に際しては、有害物搬入など不法、不当行為を未然に防止するため、成田市条例の住民同意規定の運用で規制強化に努められたい。
- ⑧ 景気低迷により就職が困難な状況が続いてい
- ⑨ 農業の経営基盤の強化と農業後継者の育成に努めるとともに、地産地消のシステムづくりなど、農業振興策の充実を図られたい。
- ⑩ 大規模災害等に効果的に対処するためには、地域防災力の醸成と地域の特性を活かした自主防災組織が必要不可欠であるため、関係機関と連携して組織の活性化を図られたい。
- ⑪ 水道事業運営にあたっては、独立採算制、受益者負担の原則に基づき、料金体系の検討も含め、安定的な事業運営に努められたい。
- ⑫ 道路・橋梁等の老朽化比率が全国平均を大きく上回るなど、公共施設の多くが更新の時期を迎える中で、施設の建て替えや修繕にあたっては公共施設白書等を作成し、予算を含めた計画的な整備に努められたい。
- ⑬ 成田市の財政は健全性が保たれているが、自主財源の増加が見込めない中で義務的経費が増加する傾向にある。その中で、限られた財源を有効に活用し、市民の新たな行政需要に積極的・弾力的に応えられるよう努力されたい。
- ⑭ 縦割り行政と言われる弊害により、各部局の連絡が見えない傾向にあり、結果として成田市にとってマイナスの要因となっている。自治体組織を経営する感覚でなく、地域を経営する感覚で、地域が豊かで住む人が安心できる自治体運営に努力されたい。
- ⑮ 補助金等については、実情に合っているか十分に検討し、負担と効果の観点から根拠を明確化し有効な活用を図られたい。



# 一般質問

議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。質問と答弁の内容を要約して掲載しています。

## 1. 水道事業の統合は

上田信博 議員



▲現在工事が進む野毛平配水場

**問 >>>** 現在、成田市内には県営水道事業、上水道事業、下総地区、大栄地区の簡易水道事業があり、それぞれ独自に事業経営を行っている。上水道事業と簡易水道事業では、許可権者も異なり、事業統合が難しいものと推測されるが、県営水道事業との統合も含め、今後の統合計画等はどのような状況か。

一般会計からの財政支援が必要不可欠な状況となっている。簡易水道事業は当面、現状の特別会計で運営し、上水道事業との統合は将来的な課題として検討していきたい。県営水道事業との統合については、千葉県並びに県営水道と市町村水道が併存している市町村などの動向を見きわめながら、慎重に対応を検討していく。

**答 >>>** 水道事業は水道料金を主たる収入源として独立採算を経営の基本とする公営企業である。下総地区と大栄地区の簡易水道事業は地下水の水質悪化に対処するため政策的な見地から始まった事業であり、

### その他の質問

- ◆地球温暖化対策と各種事業
- ◆温暖化対策への補助事業
- ◆温暖化対策と入札制度

## 2. 成田空港の発展と地域振興

佐久間一彦 議員



▲豊住地区を走るコミュニティバス

**問 >>>** 年間発着枠30万回への拡大は、経済界から波及効果を期待する声が聞かれる一方で、騒音下住民の多くは消極的賛成である。今回の合意は結論ではなく、地域振興策のスタートだと受けとめる。騒音下地域は、中心市街地から遠方にあり移動手段もコミュニティバスに頼っており、医療機関も無いに等しい。そのような地域にコミュニティバス以外の移動手段の検討や、巡回診療の導入を検討していただきたい。

それぞれの地域特性に合わせた運行方法の見直しが必要と考えている。騒音下地域の移動手段の確保と利便性向上を図るため、[デマンド交通注5](#)を含めた新たな公共交通サービスについても研究していく。巡回診療に関しては、今後も保健師、栄養士、歯科衛生士が地域の公民館に出向き、各種保健サービスを実施することで、地域の方々の生活満足度の向上に努めていきたい。

**答 >>>** コミュニティバスの現状は、1日の利用者が130人以上ある路線から30人程度の路線もあり、

### その他の質問

- ◆スポーツ政策の充実
- ◆スポーツ大会・競技会の誘致
- ◆生涯スポーツへの取り組み

注5 事前に電話などで予約した人の家や指定する場所を順次まわりながら、それぞれの目的地で降ろす「乗り合いタクシー」方式の交通システム。

## 3. こども発達支援センターの現状

青野勝行 議員



**問 >>>** こども発達支援センターの定員は30名であり、保育室2部屋、小保育室2部屋、和室2部屋、プールなどを使用して療育、理学療法や作業療法の個別指導を行っている。個々に適した支援プログラムを行うために、現在はスペースが足りず、場合によっては廊下で個別指導を行うこともあるようだが、児童デイサービス事業でのこのような現状を把握しているか。また、改善策は。

専門性の高い個別の支援が求められている。集団療育と並行して行うため、様々な工夫をしながら場所の確保を行っており、通路を使用することもあるため、子どもの集中力が途切れるなどの問題点も認識しているため、今後、増築も視野に入れて、療育環境の整備を検討していく。

**答 >>>** 利用者は年々増加し、障がいの重度・重複化、多様化が進んできているため、集団での療育だけではなく、個々の特性に応じたより

### その他の質問

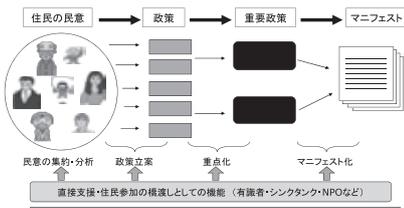
- ◆今後の障がい児支援体制の拡充
- ◆個々のニーズに適した福祉サービスの利用
- ◆成田国際空港の競争力強化

## 4. ローカル・マニフェストの導入を

雨宮真吾 議員



マニフェストのつくりかた



**問 >>>** 従来の選挙公約は、右肩上がりの人口と経済を前提としており、政策の集中と選択というよりは候補者の要望集になりがちで、内容に具体性や実現性が乏しく、達成度合いもあいまいになってしまうものが少なくない。次期市長選挙においては、市民に成田市の山積する課題を示した上で、具体的解決策としての政策、期限、必要財源、拠出方法、そしてどの工程で行うのかを網羅するローカル・マニフェストの導入を提案するが見解は。

**答 >>>** ローカル・マニフェストは、地方自治体の首長選挙における

事後検証が可能な公約で、市民が関心を持ちやすく、就任後の実績評価がしやすいとされている。これからの首長選挙において重要なファクターであると理解しているが、時間的な制約があり、導入については十分に検証し参考としたい。

### その他の質問

- ◆市長の市政運営における4年間の成果と評価
- ◆公約の進捗状況と達成できなかった政策と要因
- ◆成田市の現状と今後の課題認識、展望

## 5. TPPで農業壊滅的

鵜澤 治 議員



**問 >>>** 景気低迷で市税が落ち込み、米価の暴落などで地域経済のさらなる冷え込みを心配する中でのTPP<sup>注6</sup>問題である。TPP参加は、食料自給率を急落させ、農家関連産業の雇用340万人喪失など、損害額も農業生産額で4兆円を超える試算がされており、まさに地域経済と農業への壊滅的打撃である。TPP参加はすべきでないと思うが、成田市はどう受けとめているか。

**答 >>>** 日本がTPPに参加した場合、成田市の農業においても、安い外国産農産物に置きかわることによる農業生産額の減少、食料自給

率の減少、就業機会の減少、農地が維持されることによる洪水防止や景観形成などの多面的機能の喪失等、多大な影響が懸念される場所である。安価な外国産農産物にとってかわられないためにも、安全・安心で高品質な農産物のブランド化と消費宣伝を進め、成田産農産物の消費拡大を図っていきたいと考えている。

### その他の質問

- ◆地産地消で農家支援
- ◆住宅リフォーム助成制度で地域経済活性化
- ◆睡眠妨害の成田空港早朝深夜の運用時間延長策は撤回を

注6 環太平洋戦略的経済連携協定の略。加盟国間で取引される全品目について関税を撤廃しようというもの。

## 6. 中学3年生までの子ども医療費助成

大倉富重雄 議員



▲増設が待たれる子ども発達支援センター

**問 >>>** 市民との対話で、小学生医療費助成は経済的に厳しい中、本当に助かっており、小学3年生まで受給券が交付されることになり感謝している。さらに、一日も早く中学3年生まで拡大してほしいとの要望があった。私も平成19年3月、20年12月議会で医療費の助成を質問したのとして、とてもうれしく感じる。また、千葉県や近隣市町村は、子ども医療費助成制度の導入の動きが活性化しているのも事実である。そこで、市民からの要望にもあるように、中学3年生までの医療費の助成を推進してほしいと考えるが見解は。

**答 >>>** 子どもの医療費助成は乳幼児や児童の保健の向上と保護者の経済的負担の軽減を図ることを目的としており、子育て世帯に対する支援策として大変重要な施策の1つとなっている。中学3年生までの医療費助成の拡大については、平成23年4月から実施していきたい。

### その他の質問

- ◆こども発達支援センターの拡充
- ◆保育園待機児童の解消
- ◆ポイ捨て条例等を拡充して生活環境迷惑防止条例

## 7.地域分権と コミュニティ政策

内山 健 議員



**問** 自治基本条例の制定に向け検討中と思うが、単なる理念的なものではなく住民自治を進める実効性のあるものにするためには、新たなコミュニティの形成や育成の仕組みづくりに取り組んでいく必要があると考えるがどうか。また、コミュニティ活動の活性化はリーダーの力量に負うところが大きく、人材育成のためのカリキュラムを立ち上げ、講座終了後には成田市の各種の委員に登用するなど、自然に市政参加ができるような仕組みづくりをして人材育成を図っていくということも必要ではないか。

**答** 市民参加の仕組みについては、自治基本条例の検討の中で考えていく。市民と行政が共通のまちづくりの理念を持つことは、コミュニティの活性化にもつながるのであり、市民が積極的に参加できる制度を考えていきたい。また、地域コミュニティを担う人材の育成も重要であると考え、今後は、既存の自治組織との連携を図り、自治会・町内会などの代表者を対象に研修会を開催し、人材の育成に努め、その活用についても研究していく。

### その他の質問

- ◆高齢者対策
- ◆市営住宅の建設と入居

## 8.駅前再開発マンション 計画の見直し

馬込勝末 議員



**問** 駅前再開発ビルのマンション計画は必要ないと主張してきた。また、マンションを売り、その資金が事業の支出に充てられる状況ではないようである。マンションをビルに上乘せすることは建設費用や事業費が膨らむだけであり、財政的な点で必要性が薄く、景観を守るためにもマンション計画を見直すべきではないか。

の持ち分は、床の面積に合わせて配分されることになる。新たに建物を建てた場合、資産価値が上がり、従前と同等の資産を床に置き換えると、床に土地の権利の部分が加わり、資産価値は以前より上がり、面積的に削減される。保留床<sup>注7</sup>を設けることで区分所有者がふえ、土地の持ち分が下がり、それが床に反映され生活再建の一定面積を譲渡することができる。

**答** 駅前広場の拡張に伴い、土地を提供した方の生活の再建を図るため、新たなビルに移ってもらうことが事業の仕組みである。建物には当然土地があり、移る建物の土地

### その他の質問

- ◆小規模工事施行者登録者制度
- ◆空港内での非正規労働者の実情調査
- ◆カジノ計画には反対表明を

注7 市街地再開発事業で新設した施設や建物のうち、地権者が取得する権利のある床以外の部分。

## 9.成田空港容量拡大 による成田市の将来

堀川 洵 議員



**問** 平成22年10月13日、成田空港容量拡大30万回に係る確認書が、関係者間で合意された。騒音直下の地域に対する説明会で示された条件は納得できるものではなかったが、騒音下住民は苦渋の選択で容認した。今後の成田市及び成田空港の発展は、常に騒音等の被害をこうむる地域住民の受忍の上に成り立つということを認識すべきである。今後は地域共生にしっかりと取り組み、地域住民の生活環境を整備し、この地域に住み続けたいと思える地域づくりをしていかななくてはならない。現在示されている騒音直下対策の3項目の実施はいつになるのか。

**答** 騒音直下対策の3項目のうち民家防音家屋等維持管理費補助金の拡充と、航空機騒音地域補助金の拡充については、平成23年度当初予算へ計上し実施したいと考えている。また、民家防音工事の施工内容の充実については、成田市と同様に第1種区域や谷間地域を抱える空港周辺市町と連携しながら、早期に実施できるよう取り組んでいく。

### その他の質問

- ◆JR成田駅東口再開発
- ◆下総親水公園の設置

## 10.窓口サービスの充実

水上幸彦 議員



▲自動交付コーナー



**問 >>>** 平成21年9月議会で、総合窓口、ワンストップサービス<sup>注)8</sup>の質問をしたところ、システム再構築の作業を進め完了の予定は平成22年11月ごろとの答弁であった。総合窓口開設の進捗状況と、窓口サービス充実において、自動交付機では住民票と印鑑証明の発行だけではなく他の活用方法について、市民カード、住民基本台帳カード、コンビニでの対応を含め成田市の考え方を伺う。

**答 >>>** 成田市行政改革推進計画では、平成24年度を目標に総合窓口の設置に向けた検証を進める計画と

なっていたが、平成23年度中の設置・運用を目指している。新設する総合窓口には、住民関係の証明書に加え税務証明書も交付する窓口や、住所異動・戸籍の届け出に伴って発生する国民健康保険、国民年金、学校の就学、子ども手当などの手続きが、1カ所できる窓口を設置する方向で調整を進めている。また、自動交付機の機能の拡充や住民基本台帳カードの活用についても検討していく。

### その他の質問

- ◆地域に開かれたコミュニティセンターのあり方
- ◆三里塚地域の施設整備

注)8 1カ所で必要な行政手続きをすべて済ませること。

## 11.ますます進む高齢化に対応する地域福祉

伊藤竹夫 議員



▲ニュータウン地区での懇親会



**問 >>>** 最近では高齢者とボランティアがともに企画・運営する活動が、子育てサロンや障がい者サロンの展開へと広がりを見せるなど、地域福祉の新しい動きが進みつつある。しかし、地域福祉の担い手が問題になってきており、民生委員がなかなか決まらない状況や、定数が埋まらない現状が出ている。今後は、多くの方が少しずつの負担で福祉活動が進められるように、地区社会福祉協議会の事務所の整備等、合理的に活動できる環境づくりが必要ではないか。また、さらなる高齢化対策として、いつでも気軽に立ち寄れる場所が必要だと考えるがどうか。

**答 >>>** 地域の福祉の担い手の方々の尽力に、改めて感謝し、今後、活動しやすい環境づくりにどう対応していくか、地区社会福祉協議会ともども協議していく。ますます進む高齢化対策として、いつでも気軽に集える場所については、その必要性を十分認識しているので、地域の様々な資源の活用を考慮しながら、地域の方々とともに考えていきたい。

### その他の質問

- ◆農水産物を輸出するための総合的な基地を成田市内へ
- ◆TPP参加を想定した場合の影響とその対策

## 12.医科大学の誘致

神崎利一 議員



**問 >>>** 市長は大学の誘致を公約に挙げており、新聞では、市立の大学創設は難しいが誘致なら可能、財政支援や税制優遇なども考えられるといった報道もされている。いつごろからどのように医科大誘致の話が進められているのか、成田市としての負担や今後の見通しについて伺う。

**答 >>>** 大学誘致については、国土交通省の大学のキャンパスやサテライト等の誘致に関する情報に登録するなど、継続的に取り組み、公約にも掲げていたが、大学側からの具体的な話は現時点ではない。今後、

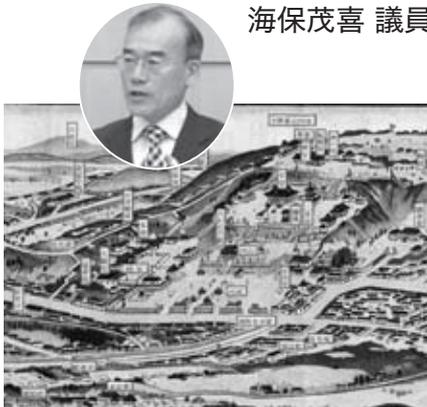
文部科学省が医科大学新設、医師数の拡充などの専門チームを設置すると聞いており、議論されるものと思われる。医科大学については、医療関係者によるシンポジウムが開催されるなど、誘致に関する応援環境が整いつつあると考えているので、今後の国の動向を注視していきたい。

### その他の質問

- ◆30万回発着回数容認における騒音地域への対策と地域振興
- ◆消防スタジアム、防災センターの設置
- ◆成田市の農業政策とTPP問題

### 13. 門前町成田の駅前に高層マンションは必要か

海保茂喜 議員



▲「成田山全景」大正7年発行より

**問 >>>** 成田市は歴史と伝統を継承してきた門前町の景観を守るという立場を放棄し、マンション建設を実施するのか。あるいは7,251名という圧倒的な市民の総意とも言うべきマンション計画の中止を決断するのか、市長は明快に方針を示すべきである。事業の採算性のみが論ぜられ、駅前再開発の本来の目的が失われている。マンションの住宅床は、権利者の従前資産に対する権利変換や将来生活設計にとって必要不可欠の要件であるのか。

**答 >>>** 再開発ビルに保留床を設け、民間事業者に取得させること

で、成田市の負担額軽減と、区分所有者増による土地の共有持分の軽減を図り、地権者の方に従前資産と同程度の生活基盤に相当する床を譲渡することが可能となる。保留床は、住宅のほかにもにぎわいの創出が期待できる施設も含め、現在、建設業務代行者選定委員会において審議を進めている。

**その他の質問**

- ◆ 地域の合意を基本とした成田駅東口再開発
- ◆ 景観条例の制定
- ◆ 成田空港の発展と騒音下住民の不安・不満

### 14. 子宮頸がん・性教育の充実と検診率の向上を

足立満智子 議員



**問 >>>** 子宮頸がんの原因といわれるヒトパピローマウイルスには8割の女性が感染するが、9割は免疫で消滅するという。一方、認可ワクチンは効果が限定されているうえ、予防効果がどのくらい続くか、追加接種が必要か、副反応の問題など肝心な部分はまだわかっていないようだ。早期発見の子宮頸がんはほぼ100%治療できるといわれる。欧米に比べ極端に低い子宮がん検診の受診率向上、性行動の低年齢化をふまえた「性と生殖に関する健康／権利」に基づく性教育が重要では？

**答 >>>** 子宮がん検診の受診率

向上については、周知し受診勧奨に努めるとともに、推進対策として、平成21年度から検診の無料クーポン券を送り、22年度は美容院にパンフレットを置くなど啓発活動に取り組んでいる。学校における性に関する指導は、学習指導要領に基づき、児童生徒の発達段階に応じて担任と養護教諭が共同で授業を行っている。また、養護教諭を中心に性情報への対応について研究を行い、指導計画を作成し、各学校に周知している。

**その他の質問**

- ◆ 予算編成過程への市民参加を
- ◆ 児童虐待防止のために

### 15. 地球温暖化防止対策の取り組み

村嶋照等 議員



▲環境を守るためにもっと街路樹を

**問 >>>** この夏の猛暑を経験すると、地球温暖化がいよいよ身近に迫ってきたと感じずにはいられない。ホッキョクグマの置かれた厳しい状況や氷河の後退、そして南の島の海面上昇等を目の当たりにすると、私たちも身近な点から取り組まなくてはという思いを強くする。一般企業においては、業界の省エネに対する注意と取り組み姿勢が新聞などで報道されているが、成田市庁舎や関連施設では温暖化防止対策としてどのような取り組みをしているのか。

**答 >>>** 成田市も温室効果ガスを排出する一事業者、一消費者であ

るという観点から、第2次成田市環境保全率先実行計画に基づき、エコオフィス活動やグリーン購入などに取り組んでいる。省エネに関する内部への通知などは、様々な機会において周知している。また、ISO14001規格に基づく環境マネジメントシステムの運用の中で、内部環境監査や外部機関による審査を受けるとともに、運用状況の改善に向けた総括見直しを行うマネジメントレビューを実施しており、今後も率先して環境配慮行動に努めていきたい。

**その他の質問**

- ◆ 八富成田斎場の運営状況

## 16.アレルギー対策

平良清忠 議員



▲エピネフリン製剤の自己注射

**問** 救急救命処置の範囲等について一部改正がされたが、この一部改正の通知は、アレルギーでショック症状になった場合に、自己注射が可能なエピネフリン製剤を処方されて持っているものに対し、教員や救急救命士が本人にかわって注射をすることが認められたことを受けてのものである。この通知を受けた後、関係部ではどのような情報収集と伝達を行ったのか。

**答** 消防では成田市教育委員会と協議を行い、対象児童のいる施設等の情報を共有し、救急車を要請時にエピネフリン製剤を処方されてい

ること、アナフィラキシーショック<sup>注9</sup>である旨を付け加えるよう徹底し対応を図っている。市教育委員会では、教職員の対応について児童生徒がアナフィラキシーショックをおこしエピネフリン製剤を自ら注射することができない状態であるなど、緊急の場合は、教職員が本人にかわり注射することもあり得、これは医師法違反にならないことなどを周知した。

### その他の質問

- ◆現在の5か年計画と市長の公約との関係は
- ◆赤坂センタービル跡地利用
- ◆肺炎球菌ワクチン接種の助成

<sup>注9</sup> ハチ毒や食物、薬物等が原因で起こる急性アレルギー反応のひとつで、生命をおびやかすような危険な状態に陥ってしまうこともある。

## 議場コンサート♪ ～中台中学校吹奏楽部～



12月定例会が閉会した12月14日、中台中学校吹奏楽部の皆さんによるコンサートが開かれ「sing sing sing」など5曲が演奏されました。

## 総務大臣より感謝状

永年にわたり、地方自治の振興発展に寄与され、住民福祉の向上に尽くされた功績により、総務大臣より馬込勝末議員へ感謝状が贈られました。



馬込勝末 議員  
《議員在職 35年》

## 奄美大島に義援金

成田市議会議員団では、10月に奄美大島で発生した集中豪雨による被害への義援金を送りました。

## 3月定例会は、2月10日(木)開会予定です

「成田市議会だより」についてのお問い合わせは、市議会事務局へ。

〒286-8585 成田市花崎町760  
TEL 0476(20)1570(直通)  
FAX 0476(24)0336

## 議員研修会を開催

成田市議会議員団では、議員の資質向上、議員活動の向上を目指し、研修会を行っています。

11月24日には、「長所伸展のまちづくりのやり方」をテーマに、(株)船井総合研究所 地域創造・活性化チームの枋尾圭亮氏を迎えて研修会を開催しました。



## コーヒータイム



今年は、干支でウサギ年。ウサギというと、ウサギと亀の話は有名で、油断すると大変なことになるよ！という、戒めの年なのかな、とも思います。また、小さい頃に、満月を見ていると、お月様ではウサギがお餅を突いているんだよ！と言われたことを思い出します。大きくなって、実際にはそんなことは無いとわかっていても、本当にそうなのかな？と、必死にお月様を見た頃のことが忘れられません。

市議会だよりも編集委員会で検討の結果、このような形になりましたが、これも、いかに議会の活動に関心を持っていただけるのか、という視点から取り組んだものです。今年は、統一地方選挙の年でもあり、初心忘れるべからず、油断大敵ですよ、という戒めの年であるにとらえて、市民の皆様へ、議会の活動に大いに関心を持っていただけるとありがたいと思います。

市議会だより編集委員 平良 清忠

リサイクル適正(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

PRINTED WITH  
SOYINK™  
環境に優しい大豆インクを使用しています。

「市議会だより」は、再生紙を利用しています。